

第 16 回 ソフトウェアファクトリ研究会開催のお知らせ

開催日時： 2010 年 8 月 30 日(月) 16:30~18:30

開催場所： 日経 BP 社 4階会議室

<http://corporate.nikkeibp.co.jp/information/corporate/map.shtml>

東京メトロ南北線または都営地下鉄三田線「白金高輪駅」4 番出口から直結通路あり

講演題目： 全コード生成のためのドメイン特化型モデリング
(Domain-Specific Modeling for Full Code Generation)

講演者： Juha-Pekka Tolvanen, Ph.D., CEO, MetaCase
www.metacase.com/jpt.html

梗概： DSL (Domain-Specific Language)、MDD (Model-Driven Development) の利点、すなわち、開発抽象水準の押し上げ、生産性向上、品質改善については、すでに周知されている。この講演では、どの局面 (where) 、どのようにして(how)、これら手法を利用するのが、最善、かつ効果的であるかについて、解説する。

まず、DSM が UML との違いをコードという局面から解説し、つぎに、DSM の実例について述べる。これらを通して、ドメインという概念の識別、メタモデルの作成、コード生成法、遺産、または手書きコードとの組み合わせについて、解説する。

注：講演終了後、質疑応答の場を設けます。

参加料： 1,000 円 (現金)

ソフトウェアファクトリ研究会・参加申し込み方法：

- ◆ 2010 年 8 月 20 日 (金) までに、下記、事務担当へ、メールで、{お名前、所属機関名、当日に現金と引き換えにお渡しする領収書宛先名} を、ご連絡ください。
 - ◆ 主催： 京都高度技術研究所 (<http://www.astem.or.jp/>)
事務担当部門： 同研究部 akiko@astem.or.jp
 - ◇ 代表者 松本 吉弘 (京都高度技術研究所)
 - ◇ 幹事 8 名 (研究会会員からの互選)
-